

## テーマ【Pythonを使ってMRのDICOMを処理しよう（入門編）】

第9回Kanto Advanced MR Forum（KAMF）は対面式のハンズオン形式で行います。内容はPythonを気軽に始められるJupyterLab Desktopを使用して、前半ではプログラミングの基礎を学び、後半ではDICOMの画像処理を体験します。具体的にはMRの感度補正を実際にPythonでプログラムし動かすことで動作の特性を実際に体験しながら、プログラムの面白さを感じていただく入門コースです。

### 【参加条件：重要】

**当日までにJupyterLab Desktopをインストールし、使用可能な状態までセットアップできる方**

### 【必要システム構成】

- 1) OS: Windows, Mac : 検証済み環境 Windows10, macOS Monterey (Apple silicon)
- 2) RAM : 4 GB
- 3) disk space: 10 GB free

\*必ずしもすべてを消費するわけではないですが、この程度空きスペースがあることが望まれます。

\*セットアップの参考URL:

・ガンマソフト株式会社様: JupyterLab Desktop のインストールと始め方 (Windows)

<https://gamma-soft.jp/blog/jupyterlab-desktop-app-install-to-windows/>

・github: jupyterlab-desktop

<https://github.com/jupyterlab/jupyterlab-desktop>

・github: jupyterlab-desktop: v3.4.6 (今回のdemoでの動作検証を行ったバージョンです)

<https://github.com/jupyterlab/jupyterlab-desktop/releases/tag/v3.4.6-1>

## プログラム：「Pythonを使ってMRのDICOMを処理しよう（入門編）」

総司会 東京慈恵会医科大学附属病院 北川 久

【座学】 PythonとDICOMデータの基礎知識 (13:00~13:30)

講師：GE Healthcare Japan 瀧辺 章太郎

【実技】 Pythonを用いた実技演習 (13:30~16:30)

講師：GE Healthcare Japan 瀧辺 章太郎

GE Healthcareチューター数名 & KAMF幹事チューター数名

日時：2023年1月15日（日）13:00~16:30 (12:30 受付開始)

会場：東京慈恵会医科大学 大学1号館：3階/大講堂（会場地図内の赤矢印部分）

\*会場は各テーブルに電源コンセントがありますので充電器を持参ください。

感染対策事項：①会場は250名収容できる大きな会場ですので感染対策は十分に配慮されています。

②参加者全員には入室前に体温測定および問診シートの記入をお願いいたします。

募集人数：20名（定員になり次第締切ります。）

参加費：3,000円（資料代含む）

申込期間：2022年12月1日（木）～1月5日（木）とします（なお20人に達したら募集を終了とします）。

申込方法：actait japanの参加申込フォームよりお申し込みください。

尚、先着順になりますので20名になり次第受付を終了させていただきますのでご了承ください。

注意事項：申込後、キャンセルの場合は返金できませんのでご注意ください。

その他：E-mailアドレスは正確にご記入ください。（資料配布をメールで行うため携帯電話のアドレスは不可）

1月5日以降にメールが届かない場合は担当者（北川；kitagawa1192@gmail.com）にご連絡ください



○JR「新橋駅」下車 徒歩12分

○都営三田線「御成門駅」A5出口、徒歩3分

